



Arai News

(株)新井広武 〒330 埼玉県大宮市東町2-12 ☎0486(41)3825-7

海外からも活躍めざましい
3名のプロライダーが、
アライをかぶる仲間に加わった。
彼等の意見も製品改良に
役立つことだろう。

なお、我等の浅見貞男も、
ことしは世界に挑戦するそうだ。
彼の活躍にも声援を送ろう!

モトクロの世界チャンピオンが選んだ

Arai CLC-R-7

ヘイッキ ミッコラ Heikki Mikkola

フィンランドが生んだモトクロス界のスーパースター。77年度は世界最高の座、500ccクラスの選手権を獲得した。78年はチャンピオンの座をまもるため激戦を繰りひろげるが、使用するマシン、装具は最高のものでなければならない。ミッコラがそのために選んだヘルメットはArai CLC-R-7ジェット型である。今後は世界選手権戦でAraiをかぶるミッコラが、レースをリードするシーンが見られることしよう。なお、彼のヘルメットはブルー、サイズはBで正面に大きめのAraiステッカーがつく。



Arai CLC-RX-7をかぶるAMAの新星2人

テッド ブーディー Ted Boody (ミシガン州出身)

AMAプロシリーズ30戦のうち21戦をしめるダートの“マイルトラック”1/2マイルトラック“ショートトラック”および“TTスクランブル”を主戦場として戦うハーレー工場チームのスターライダー。若く19歳で荒っぽいことこの上なしのAMAプロシリーズで77年度ランキングNo.2となり、78年度王座への最短距離にいる。長身、細身にハンサムな彼は将来のスーパースターたる可能性を秘めている。なお、彼がかぶるのはハーレーチームカラーのCLC-RX-7である。

★19歳のテッド、21歳のスキップ、アメリカレース界ピカ1の早さとマスクを持つ2人の今後を見守ってほしい。なお、ファンレターの宛先は⇒



Ted Boody, Jr.
3069 Edgar Road
Mason, Michigan 48854
U.S.A.

スキップ アクスランド Skip Aksland (カリフォルニア州出身)



Skip Aksland
9850 East Highway 120
Mateca, California 95336
U.S.A.

AMAプロシリーズを戦う21歳のフライベートプロ。ダートはハーレー、ロードはTZ750に乗る。ダートもさることながら、ロードではケニーロバーツの弟分ということもあり、早さとガッツは凄いものを持つ。ここ1~2年のうちロバーツをおびやかすライダーになること間違いなしというのがアメリカレース界の定評。マスクが抜群ということもあり、将来のスーパースターたる要素充分。彼は黒皮のCLC-RX-7、サイズ55をかぶる。



浅見貞男 (五十嵐)
石川岩夫 井上哲雄
上野真一 江崎正
岸本信二 小泉栄
岸本信二 小泉栄
真田晋道 杉本五十洋
鈴木修 鈴木美好
高橋清志 高橋力也
毛利良一 高谷利也
はかに「ゴーカー」トチ
マシオンの善家安野、
また女性ライダーの廣
ひろ子、藤井幸子、小
川洋子も顔をみせ会場
に花をそえた。

1月28日大宮市に於いて午後6時よりアライを着用の2輪ロードレースのエキシビション、報道関係者、関係者、観客等、多数が参加してパティエーが開かれた。会場はながやかな雰囲気、開始したが、このようないが今年のレースを盛り上げる事に貢献する事を期す。なお、当日参加したエキシビションは、

Arai レーサーズ
ミーティング'78